

学校における 自殺予防教育のすすめ方 [改訂版]



だれにでもこころが苦しいときがあるから

窪田由紀・シャルマ直美 編

ISBN978-4-86616-194-5 C3011 A5判並製 162頁 定価2,600円(+税)



ますます増加し、深刻化する若年層の自殺。友だちや知り合いに「死にたい気持ち」を仄めかされたらどうしたらいいのか？ 自殺をとどめるには、この最初の表現に触れたものが「ゲートキーパー」となる必要があります。いのちの大切さを声高に叫ぶだけではなく、児童生徒ひとりひとりのピンチをしのぐ力（レジリエンス）を高め、聴く技術とつなぐ工夫を駆使して、人と人のきずなで自殺を予防しよう——北九州市の学校では、そんな授業が実践されています。この本は、その自殺予防教育を実践してきた心理臨床家らによる手引きで、初版が世に出てからの8年間の社会の変化も踏まえて大幅に改訂をしたものです。自殺予防の授業に取り組む際に活用できる資料集もさらに充実し、北九州市で使用されてきた「自殺予防教育リーフレット」も追加されました。

主な目次

- 第1部 理論編
 - 第1章 子どもを直接対象とした自殺予防教育の必要性 窪田由紀
 - 第2章 学校における自殺予防教育の位置づけ 窪田由紀
 - コラム1 子どもから「死にたい」と打ち明けられたら 窪田由紀
 - コラム2 「誰にも言わないで」と訴える子どもが恐れているのは 窪田由紀
 - コラム3 下地づくりの教育として北九州市対人スキルアップ・プログラム 窪田由紀
 - 第3章 学校を拠点とする自殺予防教育の意義 窪田由紀
 - 第4章 児童生徒を対象とした自殺予防教育の展開 秋田寛子
- 第2部 実践編
 - 第5章 学校現場への自殺予防教育の導入・定着過程 長崎明子・鎌谷友子
 - コラム4 自殺対策としての自殺予防教育—行政機関の自殺対策担当者へのメッセージ 長崎明子
 - 第6章 学校における合意形成 シャルマ直美
 - コラム5 管理職の立場から一教員にとっての「生涯にわたるメンタルヘルス研修」を考える 肘井千佳
 - 第7章 授業プログラムの実際 シャルマ直美
 - コラム6 身近な人の自殺を経験した子どもへの対応 長崎明子
 - コラム7 スクールカウンセラーと教職員が協働する自殺予防教育の授業実践を通して 奥いづみ
 - コラム8 授業を実践した中学校教諭から 重藤宏彰
 - コラム9 授業を実践した小学校教諭から 荒岡悠太
 - コラム10 児童生徒の授業後の感想から シャルマ直美

発送はヤマト運輸 DM 便で行います。都内→札幌で3～4日ほどかかりますのでご注意ください。

このチラシを見た方限定！
store.jp 小社サイトでの購入に限り、
2冊以上なら20%割引
1冊でも15%引き
になるクーポンをプレゼント
送料無料です
↓
詳しくは、小社特設サイト
<http://tomishobo.com/waribiki02.html>



をご覧ください。
遠見書房販売サイト
へのリンクも
あります。

	割引	クーポン番号
☆1冊の方	15% OFF	lrQGxKu1U0
☆2冊以上の方	20% OFF	PiMA8uF1u2